

## 出前講義演題メニュー

### I 水産流通経営学科

#### 1 『明日の漁業を考えよう』 (担当：板倉)

日本の漁業生産量は最高時と比較して現在は半分以下となっています。こうした生産量の減少は漁業者の収入を減らして、漁業を続けることを難しくしています。しかし、日本にとって漁業は今でも重要ですし、今後も重要と思われます。この講義では、日本の漁業が将来 (= 明日) も続いて行くための問題や解決方法を考えます。

#### 2 『漁村における漁協の役割』 (担当：甫喜本)

漁村の中で人が生活したり、漁業をするためには、漁協の存在は重要です。しかし、漁村の閉鎖性や既得権益の象徴として、漁協を見ている人もいます。これからの社会の中で、漁協の意義をどう捉えたらいいかを考えていきます。

#### 3 『日本の海、世界の海 – 海に関する国際的ルール』 (担当：最首)

海は世界中の国や人にとって共有するべき存在です。そこで、海に関する国際的なルールについてお話します。

#### 4 『サワラなどの海の幸の栽培漁業と魚食普及のための食育』 (担当：山本)

美味しい海の幸をつくり育てる栽培漁業により瀬戸内海のサワラの資源は増えています。サワラなどの魚は DHA などの栄養が豊富で健康食として優れた効果があります。しかし、魚が増えても食べなければ健康の維持には繋がりません。そこで、栽培漁業の成果と楽しく食育ができる取り組みについて紹介します。

#### 5 『水産資源の共同管理の話 – 日本の漁業者はどうやって資源を守っているの？ –』 (担当：西村)

今日、水産物の消費が世界的に増加していますが、水産資源の状況を見るとあまりいい状態にあるとは言えません。そのような中、水産資源の持続的な利用に対する関心が高まってきています。日本では、これまで地域の漁師さんたちが共同で水産資源を管理し、漁場を守ってきました。日本各地の漁師さんたちが、漁業の持続性を確保するために行っている資源管理の取り組みやルール作りについてお話します。

## 6 『「地球生きもの条約」の話 - 「生物多様性」の保全とは何? -』

(担当：最首)

「地球生きもの条約」というこの環境条約が意味するものについて考えていきます。

## 7 『循環型水産業の話～地球環境を守る閉鎖循環式養殖とは?～』

(担当：山本)

現在の養殖技術では成し遂げられなかった海の水浄化の力を取り入れた新しい陸上養殖システムの仕組みと、環境保全のための効果、どんな場所でも魚が養殖できる技術を紹介し、これからの第一次産業の在り方を循環型社会の観点からお話しします。

## 8 『映画で知ろうアメリカ文化・社会』 (担当：臺丸谷)

ハリウッド映画やディズニー作品を題材にアメリカ文化・社会問題を読み解きます。

## 9 『日系アメリカ人ってどんな人たち?』 (担当：臺丸谷)

かつて移民としてアメリカ合衆国へ渡った日本人がいました。合衆国西海岸の事例を中心に彼らとその子供たちが辿った軌跡を易しく解説します。

## 10 『いまこそ知っておきたいジェンダー平等の基礎知識～明日をよりよく生きるために～』 (担当：臺丸谷)

国連のSDGs、ジェンダー平等、LGBTQ、LGBTQアライ、セクシュアルハラスメント(セクハラ)、#MeToo運動、#KuToo運動、これらは最近、メディアやSNSを通して、よく目にする言葉です。でも実際はどんなことなのかよくわからない人が多いのではないのでしょうか。「今の私の生活とどんな関係があるの?」そういった素朴な疑問を出発点として基礎的なジェンダー平等の知識を身につけていきましょう。

## 11 『「漁業」×「〇〇」 - 変わる漁業現場の話 - 』 (担当：兎玉)

みなさんは「漁業」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか?近年、漁業者が「漁業」を営むかたわら、水産物の「加工・販売」を行う、あるいは「異分野」と連携する、といった取組が広がっています。また、このことによって地域に活気が生まれている例もみられます。この講義では、こうした現場での取組について考えてみたいと思います。みなさんの「漁業」に対するイメージも、少し変わる(?)かもしれません。

## 12 『水産経済分野の研究の話 - どのような研究を、どのようにしているの？ - 』 (担当：児玉)

みなさんは「研究」と聞くと、どのようなイメージを持ちますか？「水産」分野の研究、中でも「水産経済」分野の研究では、どうでしょう？この講義では、イメージしづらい「水産経済」分野の研究について、大学教員の研究活動をもとにお話します。